

—メッセージ— 2017年3月

「握手」

手は変わっていきます。手は成長していきます。
あなたはどんな手をしていますか？



私はいろいろな人と握手をします。久しぶりに会った人とも、毎週会っている人とも「やあやあ、元気ですか、調子はどうですか？」と握手をします。もちろんご婦人とは気軽に握手をしません…。握手は何か人に連帯感のようなものを与えてくれます。

ところで、私は握手について恥ずかしい思い出があります。

中学二年生の時でした。ある女の子と握手をしたのです。その子は可愛い女の子でした。髪は三つ編みで、みんなからとても好かれていました。

どうして握手をしたのか理由は忘れてしまいました。ドキドキしながらその女の子の手を握りました。(青春の輝かしい一コマでした！) もちろん合意の上です。本当にドキドキしながら手を握ったのです。

ところが、手を握ったとたんびっくりしました。どうしてびっくりしたのかというと、可愛い、三つ編みの女の子、みんなに好かれている女の子の手が、なんとごわごわだったのです。ゾウの皮のような手をしていました。

何故、どうして？

頭の中が一瞬混乱しました。

やわらかくて、すべすべした手ではなかったのです。

可愛い顔には似つかない手をしていました。

私はショックを引きずりながら悪友に相談してみました。

「どうしてあの子はあんな手をしているのだ。」

理由がわかりました。女の子はよく家でお手伝いをしていたのです。お母さんの代わりのような仕事をしていたのです。

それから私はその女の子を好きだというより、むしろ尊敬するようになりました。女の子はもう大人の手をしていたのです。

最近 私は自分の手を見て、自分の手もやっとな女の子のよう

な大人の手になったのだなと思いました。

手は変わっていきます。手は成長していきます。まず自分のことは自分であるようになり、次に働く手、人のために役立つ手になっていきます。そして最後には育てる手、愛する手へ変えられていきます。

カルバリ の丘の十字架上の主イエスに目をやると、主イエ

スの手が釘づけられ、そこから流れる血しおを見ることができます。それは、私たちの過ち、罪、孤独、心の傷を背負うためでした。

私はこの手によって愛され、癒されたのだと思うと同時に、私の手も主の手の代わりをさせて頂きたいと願わずにはいられなくなりました。

「イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。」(Iヨハネ3章16節)

あなたも主イエスの愛と癒しの手に触れてみませんか。



(牧師 小林則義)